

整理番号	32003
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年12月6日
事業担当課	水産振興課

《基本情報》

事務事業名	スマート水産業推進事業費補助金	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	C4 水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします	
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが 水産業者が	どうなっている 効率的で収益性の高い経営を行っている。
個別施策	C4-1 水産業の生産性を高め、次世代を担う多様な経営体を育成します	
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが 水産業者が	どうなっている 安定した水産経営を行っている。

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	魚類養殖において、魚価下落、漁場環境の悪化による生産性の低下、燃料費、餌料費等のコスト増大により経営が厳しい状況が続いている。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	養殖漁業者の経営が安定し、持続的に魚類養殖を営むことができる。
課題(どういうことをする必要があるのでか)	ICT等の先端技術の導入により、生産性を高め、作業の効率化及び省力化を図る。

上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	ICTやロボット技術等を活用したスマート水産業の推進を図るため、AIを搭載した給餌システム、漁場監視システム、魚体測定システム及び水中ドローン等を活用した養殖管理システムなどの導入を支援し、養殖産地の育成強化及び漁業者の作業効率化、省力化を図るとともに、養殖管理データの見える化を推進する。 【対象者】戸石地区養殖産地育成協議会(長崎市たちばな漁業協同組合) 【事業期間】令和4~6年度 【総事業費】3,600千円 【事業費内訳】令和4年度 補助金:1,600千円×1/4=400千円 ×3件=1,200千円 【補助率】県1/2、市1/4 ※県補助金:ながさき型マーケット・イン養殖産地育成事業
業務量の増減	218時間(情報収集:96h、関係機関協議:72h、事業計画作成:30h、補助金交付事務:20h)

市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)		<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働					
		漁業者等が実施する取組に対し支援を行い、取組によって得られた成果を地域内で共有することによって更なる産地の育成を図る。					
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定 (4年度～ 6年度)					
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	1,200					1,200
	総額	3,600					3,600
	財源名称						
成果(活動)指標	指標(単位)	ICT等を活用したスマート水産業の取組件数					
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値	2	2	3	-	-	
	成果指標及び目標値の説明	スマート水産業の取組が水産業者の経営安定につながると考えられるため、取組件数を成果目標とした。 基準値(1件)から取組を2件増加させることを目標とした。					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
ICTやロボット技術等を活用したスマート水産業への取組に対して、補助金を交付するものである。 ICT等の導入により、作業の効率化及び省力化が図られることで、経営が安定し持続的に魚類養殖を営むことが期待されることから、事業の実施は適当である。 ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。	
【事業実施に対する意見】 ・事業者の継続的な支援体制を整えるため、要綱の策定について検討すること。	